

伝えよう

～ビブリオバトル 編～

重複障がい(知的・肢体)
高等部 国語「伝えよう」
資料の活用・読書指導

ねらい

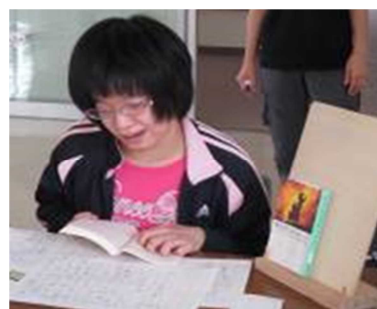
- 紹介したい本を選び、伝えたい内容を整理して、相手にわかりやすく話すことができる。
- 本の紹介を聞いて、疑問に思ったことを質問することで、より詳しく知ることができる。

学 習 展 開

- ① 「ビブリオバトル」について知る。
- ② 夏休みの課題で選んだ本を含め、図書館を利用するなどして紹介したい本を決定し、ワークシートに書く。
- ③ 教師の話聞いて、発表の仕方や伝え方、発表時間のイメージを持ち、よりわかりやすく伝えられるよう内容を整理し、個別練習をする。
- ④ ビブリオバトルをする。
時間内にわかりやすく本を紹介したり、友達の発表に質問したりする。
- ⑤ 活動を振り返り、発表で良かった点、改善点などを考える。興味を持った紹介された本や関連本は学校図書館で借りられることを知る。



好きな写真を指さし説明する生徒



好きな場面を読んで伝える生徒

◆学校司書の関わり

- 生徒の選書を支援する。
- ビブリオバトルで紹介する本を提供する。
- 教材研究・関連図書を取り寄せる。
- ビブリオバトルに参加する。
- ビブリオバトルの様子や教員の廊下掲示を職員向けメールマガジンで伝える。

★指導のポイント

- ◆ 読書に親しみ、読書の幅をひろげるために学校図書館を活用する。
- ◆ 学校司書に相談すると選書やリクエストに応じてもらえることを伝える。
- ◆ ワークシートを活用して発表内容をまとめる。
- ◆ 掲示やメルマガ等で学習の様子を伝える。

資料

「ビブリオバトル入門」(情報科学技術協会)、「ビブリオバトルを楽しもう」/粕谷亮美(さ・え・ら書房)、「特急おべんとう号」/岡田よしたか(福音館書店)、「王さまと九人のきょうだい」/君島久子(福音館書店)、「ブライアン・ジョーンズ」/ローラ・ジャクソン(大栄出版)、「風と共に去りぬ」/マーガレット・ミッチェル(新潮社)、「亡霊は夜歩く」/はやみねかおる(講談社)、「米軍機ハンドブック」(原書房)